

ノリ情報(4号)

山口県水産研究センター内海研究部

平成15年11月7日

1 気象・海況

(1) 水温と降水量(秋穂湾)

水温は6日に下関18.0℃、宇部18.3～20.0℃、秋穂20.2℃と、秋穂湾では平年より2.7℃高めに推移しています。降水量は11月1～6日にかけて33mmの降水がありました。

(2) 栄養塩

DINは下関地区は180ガンマと十分、防府地区は31ガンマと少なくなっています。宇部地区は藤曲浦で37～477ガンマと、河川の影響の強い場所で高くなっています。宇部岬は西漁場の岸寄りで63～148ガンマ、東漁場の岸寄りで51～56ガンマ、西漁場の沖寄りで26ガンマ、東漁場の沖寄りで17～35ガンマと、前回調査(10月31日)と同様、沖寄りで低くなっています。

海水中のプランクトンは全般に減少傾向で、透明度も上昇しています。なお、沖合域にはタラシオシラ・ディプロサイクロスが見られます。

2 採苗・育苗

高泊地区では10月31日～11月6日にかけてタンチサイの初回摘採が行われました。1網1,000枚前後の生産で、色も良好です。小野田地区は7日頃から摘採開始の見通しです。宇部地区は5日に入庫完了、12日(藤曲浦11日)張り込みと決まりました。

3 近県の状況

【岡山】1日から単張り開始。【広島】1日から入庫開始。赤潮が発生し、栄養塩も減少傾向。【愛媛】単張り中。水温はやや高い。【福岡】1日から摘採。色落ちに加え、アカグサレ病が蔓延中。【佐賀】1日から急ピッチで入庫開始。